

事業名	社会教育振興費	財務コード (事業)	159303
-----	---------	---------------	--------

細事業名	市町村図書館運営研修事業費
------	---------------

担当部課室	教育委員会 部 社会教育 課 社会教育振興 担当 (内線)	8356
-------	-------------------------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 H8 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
事業の目的	誰(何)を対象に ・市町村立図書館及び図書未設置町村の公民館図書室等読書施設の代表者、管理職、運営に携わる者 ・教育委員会の図書館行政担当者	その対象をどのような状態にして 図書館等の運営に必要な専門的知識を深め、県外の優れた取り組み事例等、最新情報を職務の遂行に生かすことができる。	結果、何に結びつけるのか 生涯を通じて学ぶ環境づくり
	事業の内容 ※主に23年度 H23年度の実績 年3回開催 ・第1回 講師 白百合女子大学 特任教授 座間 直壯(ざま なおよし)氏 タイトル「図書館評価の方法とその活用」 参加者22名 ・第2回 講師 調布市立図書館ハンディキャップサービス係 主任 返田 玲子 氏 タイトル「はじめませんか、障害者サービス」 参加者 23名 ・第3回 講師 小布施町立図書館まちとしょテラス 館長 花井 裕一郎 氏 タイトル「コミュニティとデザインする図書館経営」 参加者 24名		
根拠法令等	公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準(文部科学省告示第132号)1(6)①②		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	参加者数(合計)	55人	63人	69人	63人	63人	目標設定の考え方 1回当りの参加者を21名程度の参加を目標とする。県内市町村立図書館長が21名のため データの出典等 開催実績より
	活動指標達成率 (実績値/目標値)			109.5 %			
成果指標	研修会参加者へのアンケート調査で研修内容が「よい」と答えた人の割合	84%	85%	88%	85%	90%	目標設定の考え方 H21~23年度の平均値 データの出典等 研修参加者へのアンケート調査結果(回収率100%)
	成果指標達成率 (実績値/目標値)			103.5 %			
決算額、予算額	109		133	174	0	成果指標によらない成果 研修機会の少ない図書館経営に関する専門的事項を学ぶ身近な機会を提供することにより、県内市町村立図書館全体の質の向上につながっている。	
(千円) うち一財額	109		133	174	0		
所要時間(直接分)	105 時間		105 時間	105 時間	105 時間		
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間		
所要時間計	105 時間		105 時間	105 時間	105 時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	212		212	212	212		

III これまでの事業の見直し・改善状況

事務事業の見直しを受け、H18年度より、年4回(県外講師、県内講師各2回)だったものを年3回(県外講師のみ)に改め、またH20年度から図書館経営直結する研修内容とし、全国レベルの質の高い研修が効果的に行われている。

IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること
b	b	研修機会の少ない図書館運営に関する専門的事項を学ぶ身近な機会を提供することで、県内公共図書館全体の質の向上につながっている。 また、参加者へのアンケート結果において、意見や指摘があった内容については、翌年度の研修会に反映させている。 成果指標であるアンケート結果においては、研修内容がよいと答えた人の割合が目標値を超えており、意図した成果はほぼ挙げている。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目
有	本事業は、市町村立図書館等の代表者、管理職等図書館等の経営・運営に携わる者を主な対象として、図書館等の運営に必要な専門的知識を深めるために、専門的研修「市町村図書館長等研修(図書館経営研修)」を実施している。しかし、インターネットの進展などをはじめ、図書館利用者の多様なニーズに応えるためには、職員一人一人が図書や図書館を巡る専門的資質を高める必要が生じており、本研修も一般職員の受講希望者も増加している。一方、県内図書館のサービス水準の維持・向上のために実施している「図書館職員サービス講座」も、利用者ニーズの高まりを受け、その研修内容は専門化、高度化している。今後は、利用者ニーズに応え、県内の図書館のサービス水準をより一層向上できるよう、効果的、効率的な研修を実施するため、両事業の統合を含め検討する。	c、j

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
他事業と統合	本事業で行っている専門的研修「市町村図書館長等研修(図書館経営研修)」については、平成25年度から「図書館職員サービス講座」に統合し、県立図書館で実施することにより、サービス水準をより一層向上できるよう、効果的、効率的な研修を実施することとした。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。